

本質を見つめよう!

ベアテ・シロタ・ゴードンさんが亡くなりました。

89歳でした。「女性が幸せにならなければ平和は訪れない」という信念のもと、日本国憲法第14条（法の下での平等）・第24条（婚姻家族に関する基本原則）で、個人の尊厳と両性の本質的平等を条文に盛り込みました。娘のニコルさんは故人への供花をするかわりに「9条の会」への寄付などを呼びかけているそうです。国籍を超えて、人が生きる上で何が大切かを常にみつめた方でした。

一方で自民党の憲法草案では14条も24条も空欄になっています。そして第9条の2項は削除され自衛軍が明記されています。

何故日本人がねらわれたのか?

そして1月16日に起きたアルジェリアの事件。一緒に人質になったアルジェリア人のスタッフによると、日本人だけが爆弾を身体に巻きつけられていたと……アルジェリア政府軍の空爆が始まったとき、武装集団はあわてて日本人の人質と車に乗り込もうとした……アルジェリア軍が攻撃を始めるなど誰も思っていなかった……車が爆発したのは空爆によるのか、自爆によるのか……

世界で働く日本企業を守るために自衛隊の海外派遣をというのは前々から自民党政権が考えていたことです。そのためには改憲を……これは彼らの悲願なのです。

今回の事件の場合、憲法はもちろん自衛隊法でも派遣は認められません。制約をなくすために必要な法改正をとマスコミまで声高に訴え始めました。ここには事件を深く考えるよりも自分たちに都合の良い結論を急ぐ人たちがいます。

一票の公平は守られているか?

衆議院議員選挙の結果は在る程度予想されていたとはいえ、あまりのバランスの悪さに唾然としてしまいました。小選挙区のせいで死に票の多いことも原因でしょうが、マスコミ報道の極端な偏りも気になりました。歯切れの良いことば、中身のない議論、コロコロ変わる政策、派手な言動を追いかけて毎日特定の人物、集団を露出し続けました。

問題を深く考えることを避け、結論だけを先走る。結果に対する責任を封印する。（そもそも甚大な事故を引き起こした原発は誰が何故導入したのか……それも追求されないまま、その責任を負うべき人たちが再び原発を動かそうとしている。）

忘れっぽい日本人、学習しない日本人にとって民主主義とはと考え込んでしまいます。



No.200号
2013年2月7日
発行人 宮崎 優子
事務局 日高 礼子
☎097-544-8892
FAX097-544-8892

 **春の総会**

赤とんぼの会

4月7日(日) 13:30~
ライパル2F 会議室

大分市中央町5番街(☎097-573-3770)


今年の意見広告について話し合います。
お待ちしております。

昨年の意見広告に掲載できなかった方々のお名前です。

幡司 多加志さん
竹之下 裕司さん
ゆうや&さよさん
ナカシマ マミさん
阿部 睦美さん
ムロ ヨシトシさん
栗林 裕之さん
木村 辰郎さん
三島 英生さん
森光 真理さん

従って、昨年の意見広告賛同者数は2,673名になります。

御賛同ありがとうございました。



※5月3日の全国市民意見広告(東京)が広告主を募集中です!! (〆切4月12日)
連絡は ☎03-3423-0185 詳しくは <http://www.ikenkoukoku.jp/> まで

震災ガレキ 顛末記

昨年、東日本大震災後の廃棄物広域処理が全国に呼び掛けられ、大分県では津久見市が唯一手を挙げました。「広域処理とは？放射能の問題は？」と様々な疑問や不安を抱いた市民で「津久見の海と山といのちを守る母の会」を立ち上げ活動を始めました。

その中で見えてきたのは、被災地支援とは言うものの、行政は安全を連呼し、責任を（市は県に、県は国にと）他人任せにする。マスコミは偏った報道をし、企業は利権を求め、いのちが一番の判断基準になっていないことでした。そもそも、がれきは燃やすのではなく、みどりの防潮堤構想に利用すれば多額のコストをかけて全国にばらまく必要はありません。九州を少しでも安全な地域として守ることで被災者を受け入れ、又、安全な食糧を提供することができません。

藤田祐幸さん、池田こみちさん

等と呼んでの講演会の開催、新聞の折り込みチラシでの情報提供、市長への要望書や議会への請願書の提出、市議会の傍聴：怒涛のよな毎日でした。

その後、宮城県側から「可燃物の処理にめどが立った」と連絡があり津久見市での受け入れが白紙となるまでの4ヶ月間、小さな町を揺るがせたこの問題。原発事故の終息が全く見えない今、直接の被害で苦しむ人々の事を思うと、ほんの些細なことかもしれませんが、身近なところで起きる関連の問題について一つひとつ声を挙げていく事が脱原発への一歩に繋がるのだと思っています。

私たちの会は今回の事をきっかけに老若男女様々な立場の方々の出会いがありました。そういう方々との緩やかな繋がりをもちつつ被災地支援や脱原発を大きな軸として小さな一歩となる活動を続けていきたいと考えています。

「津久見の海と山と」

「いのちを守る母の会」

古谷久美子

昨年3・11に寄せた詩です

かなしき景 I

岡野百々

ざらつく舌 すりあわせ

老獺な猫が鳴く

タダチニ エイキヨウハ

アリマセン アリマセン

暗愚の空言は

この世のねじを 逆さにまわす

シューソクシマシタ シューソク

シューソクシマシタ

電波も紙面も 私たちを

あやつり絡繰る

ダイホンエイハツ

ウンザムキ嘘 アツヌリノ嘘

春は来ぬのか この国へ

降り積もる塵よ

こどもらのブランコを

こどもらのブランコを

汚すな



2012年度 赤とんぼ意見広告 会計報告

収入 2,955,426円		
意見広告募集金額	2,955,378	2,673人
受取利息	48	
支出 2,712,727円		
広印会通事家	料費	2,628,500
	刷費	59,242
	会議費	12,100
	通信費	2,570
	事務費	1,315
	賃借料	9,000
	大分合同、朝日、毎日、西日本	
	チラシ、封筒、振込用紙	
	デザイン会議、校正時交通費	
	県外賛同者への掲載紙送付	
	収入印紙、領収書等	
	みんなの家族費 7月～9月	
合計	2,712,727	
収入	2,955,426	支出
	-	2,712,727
		残高
		= 242,699円

2012年度 赤とんぼ会費 会計報告

収入 (2012.4月～9月)		
前年度繰り越し	243,266	
会費	123,000	85名
会預金	28	
合計	366,294	
支出		
印通家事意見	刷費	41,580
	信費	41,910
	業務賃借	9,000
	費	200
	告	7,000
	会報198号、199号	
	会報送料他	
	4月～6月	
	コピー代	
	市民意見広告運動他	
合計	99,690	
収入	366,294	支出
	-	99,690
		次年度繰越
		= 266,604円

※秋の総会で意見広告会計の残金は、会費会計に入れることで了承されました。

今が正念場。大飯原発以外のすべての原発が止まっている今こそ、知恵も行動も結集して再稼働をやめさせて、廃炉にさせよう！とかなり切羽詰まった思いで、毎日九電大分支社に瓜生道明社長宛ての要請書を提出して、支社前で一時間、プラカードを持って情宣活動をしている。一昨年の7月4日から始めて、きょう1月20日で553回目になる。

雨の日も、風の日も、雪の日も、暑い日も寒い日も立ち続けてきた。最初は一人で始めたが口コミやメールなどで少しずつ広がって、150日目には10人集まった。途中から高校生も加わり、ベビーカーに小さな子どもを乗せた若いお母さんも立ち寄るようになった。

丁度一年を過ぎた頃から、毎日参加する人が二人加わった。丸々一時間立つ人もあれば、20~30分間の人もいる。それぞれの体力に応じて行動している。場所が2軒の病院の前になるので、静かな行動しかできない。でも西側の角に信号があるので、停車している車に乗っている人たちや、歩いている人たちが、じっとプラカードを見て

原発いらない人たちは、 九電大分支社前に寄っちょいできー！

大分市 島田雅美

くれるのが嬉しい。大きく頷いたり、Vサインや拍手を送ってくれたり、賛同の反応をしてくれる人たちには励まされる。しかし知らんぷりをしている人たちや、時々、「バ~カ！」とか「原発は必要だ」とか「あんたたちは電気がなくて生活できるの」とか「このクソばあ。家に帰って寝とけ！」とか言われることもある。全く話にならない人たちにはかまわずに、反論しなければならない人たちには反論するようにしている。

450日目から午前の部を始めてみた。朝10時から11時までで、ほとんど一人で立っているが、午後よりはるかに反応が良い。

500日過ぎは、朝10時から午後4時30分まで初めて一日中立ってみた。延べ30人が参加して、この日はいつでも誰かが、必ず何人かで立つことができた。

「原発止めて！」から始めて、今は「再稼働やめて。すべてを廃炉に！」という要請になってきた。昨年末の総選挙で民主党が政権を取ってから、九電も7月には再稼働させることを狙っている。絶対に反対だ。子どもたちや若者たちの命や将来のことを考えると、私はじっとしておれない。毎日朝10時から11時までと午後3時30分から4時30分まで、それぞれ一時間だけでも「原発いらない！」のプラカードを持って、訴え続けている。今は正念場、今は行動すべき時である。あなたも是非、寄っちょいできー



毎日だれかが立っちょんヨ\(^o^)/



「でんでん虫」さんご苦労様でした。

「赤とんぼ」の毎号を楽しいものにして下さっていた「でんでん虫のねごと」欄の書き手田中三和さんが、前号をもって執筆をやめられることになりました。

この欄をつくったのが二〇〇二年九月らしいので十二年近くも書いて下さったことになりました。

いうまでもありませんが、「でんでん虫」さんはお書きになるのをやめられるので、「赤とんぼ」や「名もなきひとむれ」をやめられるわけではありません。田中さんは先月の「赤とんぼ」で「おしまい」のことは次のように私たちに下さっています。

でんでん虫は引つ込みますが志は消えるわけではありません。一人一人の赤とんぼの意見広告も続くだろうし、会報の赤とんぼもお手元に届くでしょう。どうぞよろしく。じゃあ、でんでん虫はこれでおしまい。

田中さんの文章はお人柄を映して柔かく、ユーモアがあり、それでいてドキッと鋭い批判の目がどこやらに潜んでいます。話の落ちが必ず憲法九条を守ろうというところにいたるのも大きな特徴

です。そこへ持っていく手際がまた奇想天外、奇々怪々です。「もったいない」病の彼女は、使いつて前提の今様のパンツのゴム紐の悪口をしたたかいった揚句、一転して、

さて、何の話からパンツの話になったんだらう。あゝそうそう、パンツは買い替えればいいんだけど、買い替えなんか効かない大切なもののお話をしたかったの。

「世界の宝、憲法九条」

これは、一度捨てたら取り返しがつかないことになる。

これこそ、とんでもない、

もったいない、宝もの

と来るのです。

昨年十一月、田中さんは「でんでん虫のねごと」を一冊の本として出版されました。厄介なことに彼女はご自分の本を力ネに代えることを好みませんので、本屋には出ていません。お読みになりたい方は直接田中さんにお電話するなりお手紙でわけてもらって下さい。本は白とグリーンの染め分けのすつきりした表紙です。私は身近に置いて、時々田中さんの志を思い返し、彼女のユーモアに富む文章を楽しんでいます。(古庄ゆき子)

「本当に、ホントの民主主義とは…」

講師/横田 耕一さん (九大・憲法学)
と き/2月11日(月) 13:30~
ところ/コンパルホール304
主催/天皇問題を考える市民ネットワーク

「税金は金持ちから取れ！」

講師/武田 知弘さん (元大蔵省勤務)
と き/2月17日(日) 13:30~
ところ/コンパルホール400
参加費/1,000円(前売800円)
主催/「週刊金曜日」読者会
連絡/080-1709-7769(岡山)

「原発やめようえおかあちゃんパレード☆」

と き/2月24日(日) 13:30~
ところ/大手公園(集合・解散)
okachanparade@yahoo.co.jp
日中のみ/080-5274-4357(三浦)

「3.11 いのちのわ」

と き/3月10日(日) 11:00~16:00
ところ/若草公園(大分市)
・脱原発大行進
・ステージアトラクション
・マルシェ(模擬店) 他
詳しくはホームページ
oita311.blogspot.com

「今、平和憲法が私たち市民に求めていること」

講師/出水 薫さん (九大・政治学)
と き/3月10日(日) 13:30~
ところ/コンパルホール 視聴覚室
主催/市民連絡会おおいた
連絡/090-4583-8797(池田)

5月3日 憲法集会

講師/森 英樹さん (名古屋大学・憲法学)
演題/未定
と き/5月3日(金) 10:00~
ところ/教育会館大ホール
主催/平和憲法を守る会大分 他
連絡/097-534-3436 (共同法律事務所)

ヒロシマから「放射能安全神話」が始まった

広島の語り部/哲野 イサクさん 網野 沙羅さん
と き/3月23日(日) 14:00~
ところ/コンパルホール 400
主催/脱原発大分ネットワーク
連絡/097-556-8252(さとう)

声に出して読んでみましよう憲法九条

「戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権否認」

①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 〒187-0185 大分市豊饒四組 みんなの家
TEL/FAX/097(544)8892(郵便振込)01540-012160
ホームページ/ <http://aka-tombo.com/> aka-tombo@hotmail.co.jp